

全ユーザー向け本格発売

高輝度・安全性で勝る新製品

カラー液晶外設端末機

コモタ

コモタは、高輝度と高いセキュリティ性でセルフSS間の差別化を図れるカラー液晶外設端末機「デライトNAVI」を本格発売する。同社は一昨年からEM系・東燃ゼネ石系向けに「ビデオポンプ」名でカラー液晶タープを販売してきたが、今夏からPB系と自社処理を行う元売系セルフ向けに販売先を広げており、今月から全SS対象の本格発売に踏み切った。今後はモノクロ型と併売になるが、価格はモノクロ一〇〇に対して新製品は一一五。カラー操作盤への要求は給油客、セルフ運営者の双方に強く、カラー化が一気に進展しそうだ。

セルフSS間の差別化にも

九月末時点の元売別セルフ数で、最初に千力所を越えたのがEM系・東燃ゼネ石系だ。同グループのセルフ化で競合店とプレス仕様セルフの約半



「デライトNAVI」

末にビデオポンプが導入されている。デライトNAVIの最大の特徴は、他社の約二倍の明るさだ。他社品の四百カンデラ（明るさを示す単位）以下に対し、新製品は八百カンデラ。この明るさが薄暮・夜間時の見やすさ、高操作性につながる。西日の際の見にくさも緩和する。操

作画面の傾斜角度にも工夫を凝らした。他社のチルト（首振り）式に対し、見やすく操作しやすいう最適傾斜で固定した。このほかのデライトNAVIの特徴は、

- ①最新POSとの接続で、処理速度が向上。また無停電電源装置の内蔵で、停電時も処理中の作業が継続できる。
- ②給油中の液晶画面でSS独自の販促企画を紹介できる。プリカや洗車キャンペーンなどのお得情報をさりげなくPRでき、押し売りのような声かけが気になるセルフに最適。
- ③BNA（紙幣読み取り装置）部もボール破壊に耐えて、高強度の鋼製とびらを採用した。また鍵穴の破壊にも、外観から構造が分かりにくいデザインで対処。

十月末時点のデライトNAVI販売先は、PB系八、同社独自システム採用の元売系十三の二百一十台。先行導入したセルフ運営者は「給油操作が分かりやすく、使い方に困る問い合わせが減った」「高輝度カラー液晶でSSの格が上がった」などと話す。デライトNAVIの完成度の高さに着目して、元売仕様の採用も出始めそうだ。「デライト(DELIGHT)は、「感動するほどの喜び、楽しさ、嬉しさ」を意味する言葉だが、同社は「セルフ端末機としての機能を高めただけでなく、給油客に楽しさ・喜び・わくわく感を感じてもらえるような製品づくりに努めた」とから命名した」と舞台裏を披露する。